

「政策・制度要求と提言」を申入れ

連合岩手花巻北上地域協議会（議長 高橋信秋）は12月11日に花巻市、18日には西和賀町と北上市へ「政策・制度要求と提言」及び「誰もが安心してくらす社会の実現」に向けた緊急要請を提出致しました。

この政策・制度要求は、連合岩手の方針及び当地協加盟組合からの要望等を推薦議員と意見交換を開催しながら纏めた物で「労働者に関する施策」、「社会福祉、保健医療」、「教育の拡充」、「安心、安全、持続可能なまちづくり」を盛り込んだ要請で、16項目を2市1町へ要求。

2024年度予算をはじめ具体的な政策に反映していただき、市民・町民生活の安定と質の向上、活力ある市政・町政の実現に向け、各自治体へ申入れ致しました。

花巻市への申入れには、阿部一男 市議、照井省三 市議に出席いただき、それぞれ担当部局から現状の報告等答弁があり、物価上昇に対しては、市独自として交通運送業社に対し3回の補助金を給付、12月16日からペイペイによる市内事業所の応援を始める事などが話されました。



西和賀町への申入れは、内記町長へ手交し、連合岩手として県内各自治体へ行っている事や要請内容について意見交換致しました。

賃金引き上げについて、「町内の事業所で基本給を20%アップした企業があり、他の事業所にも波及して欲しいと思う。補助金制度など周知に努めたい。

熊の被害については、「人身事故が2件あった。関係団体と連携し取り組んでいきたい」事などが話されました。



北上市への申入れには、小原敏道 市議、星あつこ 市議、平野明紀 市議にも出席いただき、要請に対する懇談を開催。

八重樫北上市長からは、「低所得者や物価高騰について、5月と12月の補正予算で措置をした。要望について、連合さんと連携し出来る事から進めていきたい」と話されました。

各自治体からは、1月下旬を目処に書面での回答を頂く予定です。

